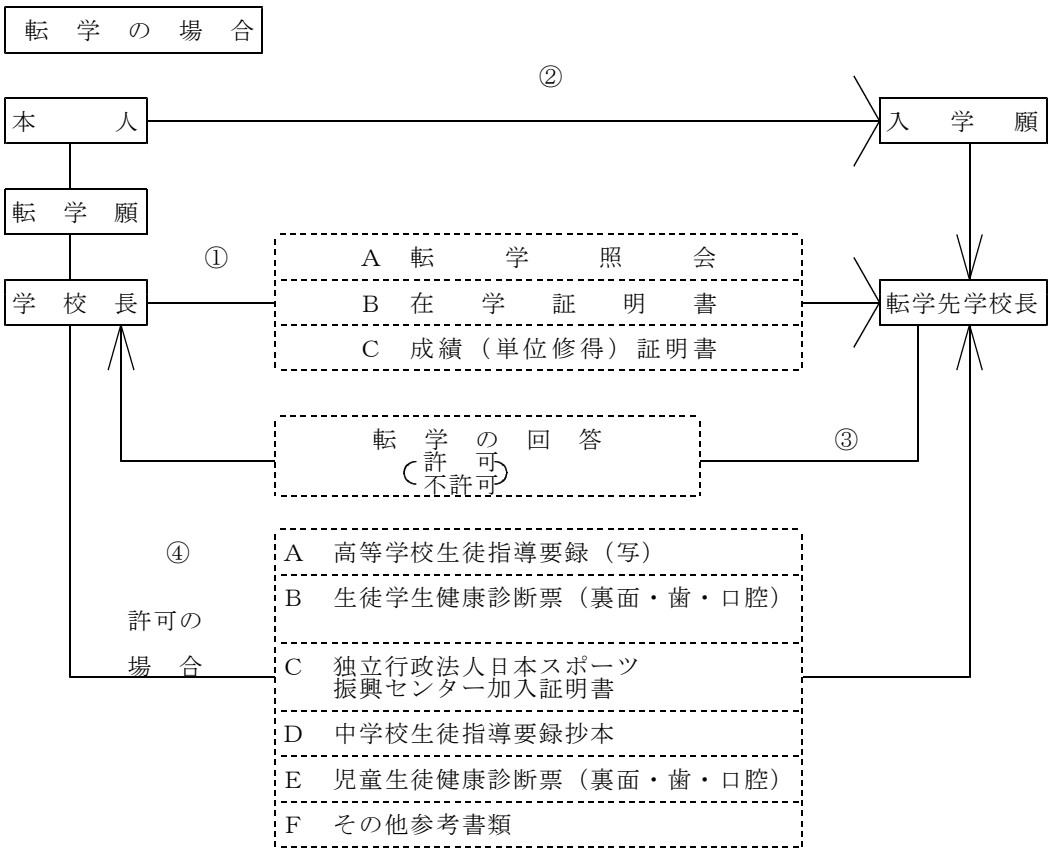
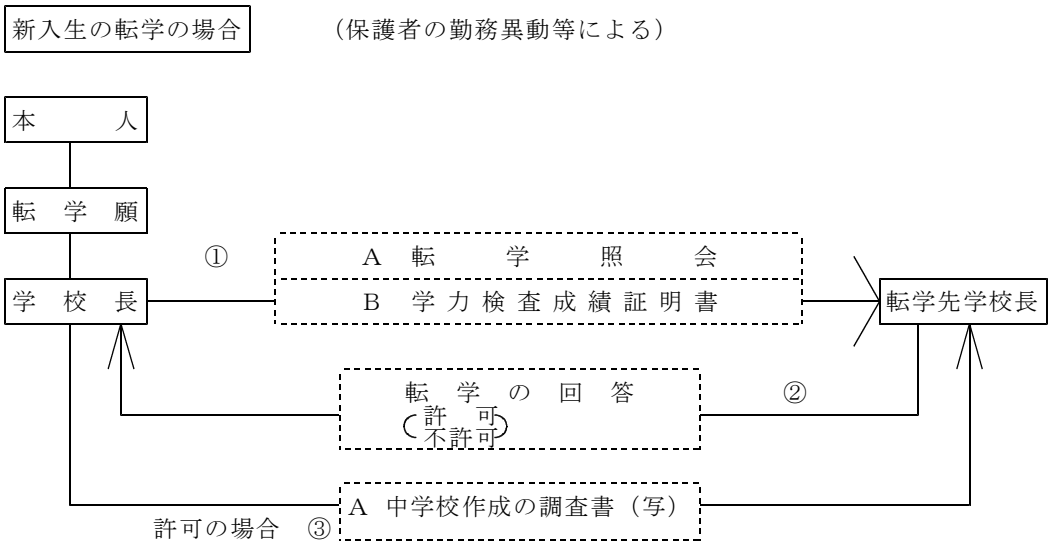
単　位　事　務　名	
# 生　徒　異　動 （転出，転入，退学，休学，留学，復学，編入学）	
根拠及び参考法令	学校教育法　【第５９条】 学校教育法施行規則　【第９１条，第９２条，第９３条，第９４条】 鹿児島県立高等学校学則　【第１７条，第２０条，第２１条，第２１条の２，第２２条，第２２条の２，第２３条】 学校教育法施行規則の一部改正について（通知） 【昭和６３年１１月１日鹿教学教第１０２１号学校教育課長通知】 高校生の外国の高等学校への留学の取り扱いについて（通知） 【昭和６３年３月３０日鹿教学教第１５０３号教育長通知】 保護者の転勤に伴う高等学校生徒の転入学の許可等の取り扱いについて（通知） 【昭和５９年４月１３日鹿教学第１０３号教育長通知】 高校生の「留学」取扱い要領について（通知） 【平成元年８月２９日鹿教学教第７９０号教育長通知】
項　目	処　理　方　法
転学・退学	転学，留学，転籍又は退学しようとする者は，その理由を付し，保護者及び保証人連署の上，校長に願出なければならない。病気による退学の場合においては，医師の証明書を添えなければならない。【鹿児島県立高等学校学則第２０条】
転学照会	転学を志望する生徒のあるときは，校長は，その理由を付し，生徒の在学証明書その他必要な書類を転学先の校長に送付しなければならない。
転学許可	１　校長は，転学を許可した場合には，その生徒の従前在学していた学校の校長にその旨を通知する。通知を受けた校長は速やかにその生徒の指導要録の写し（転学してきた生徒については，転学により送付を受けた指導要録の写しを含む。）及び進学の場合に送付された指導要録の抄本，健康診断票及び歯の検査票を転学先の校長に送付しなければならない ２　校長は全日制の課程及び定時制の課程相互の間の転学又は転籍については，履修した単位に応じて相当学年に転入することを許可することができる。 【鹿児島県立高等学校学則第２１条】

項　　目	処　　理　　方　　法
休　学　許　可	1　生徒は，病気その他やむを得ない理由のため３月以上出席することができないときは，その理由及び期間を付し，保護者及び保証人連署の上，医師の証明書等その理由を証するに足る書類を添えて，校長に休学を願い出ることができる。 2　校長は，理由を相当と認めるときは，休学を許可することができる。 3　休学の期間は，３月以上１年以内とする。ただし，特別の事情がある場合には，その期間を延長することができる。　【鹿児島県立高等学校学則第２２条】
許　可　取　消	1　生徒は，休学の許可を受けた後３月までにその理由がなくなったときは，その事情及び期日を付し，保護者及び保証人連署の上，医師の証明書等その事情を証するに足る書類を添えて，校長に届け出なければならない。 2　校長は，その事情を相当と認めるときは，当該休学の許可を取り消すものとする。 【鹿児島県立高等学校学則第２２条の２】
留　　学	1　校長は，教育上有益と認めるときは，生徒が外国の高等学校に留学することを許可することができる。 2　校長は，前項の規定により留学することを許可された生徒について，外国の高等学校における履修を高等学校における履修とみなし，３６単位を超えない範囲で単位の修得を認定することができる。 3　校長は，前項の規定により単位の修得を認定された生徒について，第６条第１項に規定する学年の途中においても,各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。 【鹿児島県立高等学校学則第２１条の２】 (1)　留学を希望する生徒は，校長に留学願を提出しなければならない。 校長は，留学を許可するに当たっては，留学許可書を交付するとともに，県教育委員会に対しても，速やかに報告書を提出するものとする。 (2)　留学期間が満了した生徒は，速やかに留学終了報告書を提出しなければならない。 校長は，県教育委員会に対して速やかに生徒の留学終了等報告書を提出しなければならない。　【平成元年８月２９日鹿教学教第７９０号教育長通知】
復　　学	1　休学中の者が復学しようとするときは，その事情及び期日を付し，保護者及び保証人連署の上，医師の証明書等その事情を証するに足る書類を添えて，校長に復学を願い出なければならない。 2　校長は，休学の理由が消滅したと認めるときは，相当学年に復学を許可するものとする。ただし，単位制による課程においては，相当の期間を在学すべき期間として復学を許可するものとする。　【鹿児島県立高等学校学則第２３条】
編　入　学	1　第１学年の途中又は第２学年以上に入学を許可される者は,相当年齢に達し,当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認められた者とする。 2　単位制による課程に入学を許可される者は，相当年齢に達し，相当の学力があると認められた者であって，相当の期間を在学すべき期間として，指定されたものとする。 【鹿児島県立高等学校学則第１７条】

項　　目	処　　理　　方　　法


転　学　の　場　合
②
本　　人
入　学　願
転　学　願
①
A　転　　学　　照　　会
学　校　長
B　在　　学　　証　　明　　書
転学先学校長
C　成績（単位修得）証明書
転　学　の　回　答
許　可
不許可
③
④
許可の
場　合
A　高等学校生徒指導要録（写）
B　生徒学生健康診断票（裏面・歯・口腔）
C　独立行政法人日本スポーツ
振興センター加入証明書
D　中学校生徒指導要録抄本
E　児童生徒健康診断票（裏面・歯・口腔）
F　その他参考書類


新入生の転学の場合
（保護者の勤務異動等による）
本　　人
転　学　願
①
A　転　　学　　照　　会
学　校　長
B　学力検査成績証明書
転学先学校長
転　学　の　回　答
許　可
不許可
②
許可の場合　③
A　中学校作成の調査書（写）

休　学　の　場　合

本　人

↓

休　学　願

（添付書類）

○ 病気の場合
　　医師の診断書

○ やむを得ない理由の場合
　その理由を付したもの

↓

学　校　長

復　学　の　場　合

本　人

↓

復　学　願

（添付書類）

○　病気の場合
　　高校生活に堪えることが出来ること
　　を証する医師の診断書

○　やむを得ない理由の場合
　　その事情を付したもの

↓

学　校　長

退　学　の　場　合

本　人

↓

退　学　願

（添付書類）

○　病気の場合
　　医師の診断書

○　死亡の場合
　　死亡を証する書類

↓

学　校　長

編　入　学　の　場　合

本　人

↓

入　学　願

（添付書類）

　　過去に在学した学校における成績
　　（単位修得）証明書

↓

学　校　長

留　学　の　場　合

留学前

本　　人

↓

留　学　願

↓

学　校　長

↓

生徒の許可について
（報告）

↓

県教育委員会

↑

留学許可書

留学後

本　　人

↓

留学終了報告書

↓

学　校　長

↓

生徒の留学終了等について
（報告）

↓

県教育委員会

※　編入学を除き各種願提出の際には担当教師の副申書（意見書）を添える。

（生異様式第１号）

校　長	教　頭	事務長	回　　議	受　付
㊞	㊞	㊞	㊞ ㊞ ㊞ ㊞ ㊞	受付印

平成○○年○○月○○日

鹿児島県立山上高等学校長　殿

全日制普通科　第２学年３組
本人氏名　坂　元　一　雄㊞
保護者氏名　坂　元　志　朗㊞
保証人氏名　荒　田　信　夫㊞

転学　・　〔退学〕
休学　・　復学　願

次の理由により　退　学　したいので，許可くださるようお願いします。

1　理　　由　進路変更のため

2　休学の期間　平成　　年　　月　　日から
　　平成　　年　　月　　日まで

3　転学・復学・退学希望年月日　　平成○○年　２月２８日

4　転学先及所在地
　　学校名（課程名）
　　所在地

担任副申　１年生後半より不登校が続き，本人・保護者・担任で再三話しあいを持ちましたが，本人の学校をやめて働きたいとの意志が強く，保護者も同意しておりますので，担任としてもいたしかたないと思います。

担任氏名　伊　敷　次　大　㊞

1　該当する事項を○でかこむ。
2　転学（１．３．４）　休学（１．２）　復学・退学（１．３）のみ記入のこと。
3　病気の場合は医師の診断書を添えること。

（生異様式第１号）

校　長	教　頭	事務長	回　　議	受　付
㊞	㊞	㊞	㊞ ㊞ ㊞ ㊞ ㊞	受付印

平成○○年○○月○○日

鹿児島県立山上高等学校長　殿

全日制普通科　第２学年６組
本人氏名　城　山　立　男㊞
保護者氏名　城　山　哲　二㊞
保証人氏名　大　島　一　美㊞

転学　・　退学
休学　・　復学　願

次の理由により　休　学　したいので，許可くださるようお願いします。

１　理　　由　病気のため

２　休学の期間　　平成○○年　５月１０日から
　　平成△△年１０月３０日まで

３　転学・復学・退学希望年月日　　平成　　年　　月　　日

４　転学先及所在地
　　学校名（課程名）
　　所在地

担任副申　１年生の三学期から病気のため欠席がちで２年生になっても好転せず，治療しながら通学しておりましたが，別紙診断書のとおりこの際入院して治療に専念したいと本人及び保護者より休学の申し出があったのでやむを得ないと思います。

担任氏名　宇　宿　満　夫　㊞

１　該当する事項を○でかこむ。
２　転学（１．３．４）　休学（１．２）　復学・退学（１．３）のみ記入のこと。
３　病気の場合は医師の診断書を添えること。

（生異様式５号）

校　長	教　頭	事務長	回　　議	受　付
㊞	㊞	㊞	㊞ ㊞ ㊞ ㊞ ㊞	受付印

平成○○年○○月○○日

鹿児島県立山上高等学校長　殿

全日制普通科　第２学年３組
本人氏名　山　下　一　朗㊞
保護者氏名　山　下　二　郎㊞
保証人氏名　桜　島　五　男㊞

休学取消願

私は平成　　年　　月　　日付で休学しておりましたが，下記の理由により休学の取消を許可くださるようお願いします。

記

１　理　　由　病気治療のため休学したが，全快により

２　許可済期間　平成　　年　　月　　日から

平成　　年　　月　　日まで

担任副申　８月中旬，足を怪我し治療のため９月１日より休学の手続きをとったが，経過もよく別紙診断書のとおり１１月より学業に専念しても差支えないとのことで本人及び保護者の申出により休学を取消すものである。

担任氏名　清　水　磯　子　㊞

（注）病気の場合は，医師の診断書を添付すること。

（生異様式第１号）

校　長	教　頭	事務長	回　　議	受　付
㊞	㊞	㊞	㊞ ㊞ ㊞ ㊞ ㊞	受付印

平成○○年○○月○○日

鹿児島県立山上高等学校長　殿

全日制普通科　第２学年８組
本人氏名　小　川　　弘㊞
保護者氏名　小　川　隆　弘㊞
保証人氏名　桜　木　哲　男㊞

転学　・　退学
休学　・　復学　願

次の理由により　復　学　したいので，許可くださるようお願いします。

1　理　　由　病気回復のため

2　休学の期間　平成　　年　　月　　日から
　　平成　　年　　月　　日まで

3　転学・(復学)・退学希望年月日　　平成○○年　４月　１日

4　転学先及所在地
　　学校名（課程名）
　　所在地

担任副申　１１月下旬から，病院にて治療継続した結果，別紙診断書のとおり復学可能と認められ，本人も新学期からの復学に備え，準備中であり担任としても十分学業に専念できる状態と認められるので復学を許可されるよう申し添えます。

担任氏名　常　盤　志　朗　㊞

1　該当する事項を○でかこむ。
2　転学（１．３．４）　休学（１．２）　復学・退学（１．３）のみ記入のこと。
3　病気の場合は医師の診断書を添えること。

（生異様式第１号）

校　長	教　頭	事務長	回　　議	受　付
㊞	㊞	㊞	㊞ ㊞ ㊞ ㊞ ㊞	受付印

平成○○年○○月○○日

鹿児島県立山上高等学校長　殿

全日制普通科　第１学年５組
本人氏名　西　田　三　朗㊞
保護者氏名　西　田　満　男㊞
保証人氏名　玉　里　五　男㊞

転学・退学・休学・復学 願

次の理由により　転　学　したいので，許可くださるようお願いします。

1　理　　由　一家転住

2　休学の期間　平成　　年　　月　　日から
　　平成　　年　　月　　日まで

3　(転学)・復学・退学希望年月日　平成○○年　４月　１日

4　転学先及所在地
　　学校名（課程名）　熊本県立熊本高等学校（普通科）
　　所在地　熊本市新大江１－８

担任副申　保護者の異動に伴う一家転住により，転学を願い出たものである。

担任氏名　杉　山　　明　㊞

1　該当する事項を○でかこむ。
2　転学（１．３．４）　休学（１．２）　復学・退学（１．３）のみ記入のこと。
3　病気の場合は医師の診断書を添えること。